

第20回テーマ： 六甲山に生涯学習の場を求めて



紙芝居「やまのゆうびん屋さん」

講演内容

- ①六甲山の
歴史と楽しみ方
- ②紙芝居
「やまのゆうびん屋さん」

実施日：平成16年11月20日（土）
午後1時～4時
場 所：六甲山自然保護センター内
レクチャールーム



講師：あけびグループ

プロフィール

2003年神戸婦人大学
文化学科卒業生。同年4
月に12名で「あけびグ
ループ」を結成。

ストーブ3台を用意

自然保護センターでの今年最後の市民セミナーとなりました。（暖房設備のないセンターは12月から来年3月まで冬眠？に入ります。）日中は好天に恵まれて暖かく、センターにあるストーブ2台をお借りしました。寒さ対策に持ち込んだストーブ3台は使わずに過ごせました。

生涯学習2年間の成果発表

今回は六甲山をフィールドに活動している、神戸婦人大学卒業生の「あけびグループ」12名の皆さんに実践発表をお願いしました。「六甲山の楽しみ方」をテーマに六甲山全体を見渡した活動の要点を簡潔に紹介いただきました。そして今後の活動テーマとして、次世代の子供達に六甲山の魅力を伝えようと作られた紙芝居を披露していただきました。



青い山脈も合唱

呼吸はぴったり！チームワークと演出

お揃いのベストを身につけた12名の発表の呼吸はぴったりで、時間配分も完璧！その光景には

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所 神戸市教育委員会

参加者の長老澤田さんは「ボーッとしていました」と、松井さんは「六甲山の二十四の瞳」と感心するなど、あけびグループのリズムに引き込まれました。また、手作りの押し花ファイルのおみやげもいただき、心配りに感服しました。

市民セミナーの持ち味

生涯学習の実践例としてあけびグループに発表していただきましたが、この度のように専門家だけでなく一般の参加者も研究発表を行い、参加者同士で幅広く意見交換することが、市民セミナーの持ち味だと考えています。今回を生かして市民の交流を盛んにできるよう取り組んでいきます。

※詳しくは1～2ページをお読みください。

参加の感想 藤堂 和子さん



今日は、神戸婦人大学の卒業生の「あけびグループ」の方々とお会い出来ることを楽しみに出かけました。

六甲山は近くにあるのに遠くにある、という存在でした。

六甲山の歴史ハイキングの発表では、とても詳細に説明していただき3つのコースの特徴がよくわかりました。ぜひコースを歩こうと思います。今まで自分の知らなかったことが学べて本当に楽しい1日でした。

【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金



テーマ：六甲山に生涯学習の場を求めて



第20回市民セミナーの流れ

市民セミナー

あいさつ 13:00~13:15
 実践発表 13:15~14:10
 紙芝居 14:10~14:25
 休憩 14:25~14:45
 質疑応答 14:45~15:50

講演内容

- ①六甲山の歴史と楽しみ方
- ②紙芝居
「やまのゆうびんやさん」



アケビのつるで編んだ籠

はじめに(あけびグループ代表:石田さん)

みんなでアケビのつるで籠を編んだことから、グループ名を「あけび」と名付けました。

私達は、六甲山に関わることが毎日の暮らしの「やさしさ、元気、安らぎ、厳しさ」を学ぶ生涯学習の道ではないかと考えています。



石田さんと青木さん

神戸婦人大学について

神戸婦人大学は、女性が自らの生き方を発見し、社会のあらゆる分野における活動に参加並びに参画するための基礎的な能力を身に付けることを目的として設置された3年制の学習の場。昭和52年に開校。卒業生は4,500人を超える。

実践発表

あけびグループの神戸婦人大学卒業論文「六甲山の楽しみ方」を基に、実践内容を紹介された。多岐にわたる六甲山についての研究内容を要約して、スライドも使ってメンバーの方が分担しながら解説された。まさに、六甲山の全容をつかめる最適のダイジェスト版といえるものだ。解説された項目と、その一部を紹介してみる。



緊張して出番を待つ皆さん

六甲山の概要：名前の由来、地理、地質、砂防事業、六甲山の開祖、唐櫃村のお話、川向家

<唐櫃村のお話>

唐櫃は六甲山の北側に広がり、昔は炭や材木など六甲山から得られる収入で成り立っていた村で、様々な昔話が語り伝えられている。

<川向家>

源平合戦での唐櫃村は平家の支配下にあったが、庭先で源氏平家の区別なく、けが人の世話をした。「川向家」は300年前に建てられ、萱葺屋根の農家で「ヤリガンナ」や「チョウナ」などの、古い大工道具で作られた戸や柱が残る立派な建物で、県の指定文化財として保存されている。

歴史ハイキング：

- ①三国池～ダイヤモンドポイント～記念碑台～アイスロード
 - ②六甲最高峰～有馬
 - ③摩耶山方面
- 以上の3コースの見どころを紹介。



コースの説明

施設めぐり：ホール・オブ・ホールズ六甲、六甲高山植物園、(元)NTT天文通信館、森林植物園、六甲ガーデンテラス、六甲山牧場、穂高湖、有馬、六甲山ゴルフ場

<六甲山ゴルフ場>

六甲山ゴルフ場は、六甲山に別荘を建て神戸を愛したイギリス貿易商人のアーサー・ヘスケス・グルーム氏によって1901年に作られた。4ホールのコースから始まり、2年後には9ホールに増設され、神戸ゴルフ倶楽部が発足。当時の原型をとどめているのは現在の2番ホールのみ。

物づくり体験：山菜摘み、押し花、アケビの籠作り、ガラス瓶工芸

<ガラス瓶工芸>

記念碑台から徒歩約8分にある、阪井保宏さんのガラス工房「六甲木まぐれ」でガラス瓶工芸を体験。色々な形のカラフルな空き瓶をリサイクル利用で作品を作る。



空き瓶をリサイクル

調べる：神戸市立六甲山小学校、六甲山の緑化

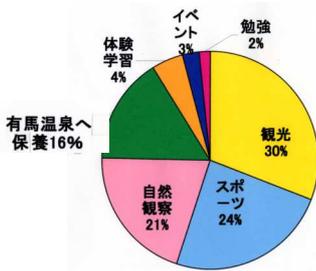
<六甲山小学校>

昭和24年4月、西六甲天主教会堂に唐櫃小学校の分教場としてでき、昭和27年に神戸市立六甲山小学校として独立。今年で55年目にあたる。平成14年度から小規模特認校制度をうけ、校区以外からの通学が認められ、児童数も増えている。

<六甲山の緑化>

明治35年再度山で植林が始まり、補植を含め500万本の苗木が植えられたのが六甲山の緑化の始まりで、一昨年に100年を迎えた。平成18年に、瀬戸内海国立公園編入50周年を迎える。

六甲山についてのアンケート調査



平成14年神戸婦人大学生300名を対象にアンケートでは、六甲山は8割が神戸の象徴というイメージ。六甲山へ行く目的は、観光やスポーツが多く、生涯学習は意外と少なかった。

紙芝居～やまのゆうびん屋さん～

あけびグループの今後の新たな活動として、次世代の子供達に神戸市民のふるさとである六甲山を語り伝えようと紙芝居を作成した。

この紙芝居は、今から40年位前、六甲山郵便局で勤務されていた方をモデルにした絵本「やまのゆうびん屋さん」をもとに作成。全て自分たちで描いた手づくりの紙芝居である。

軽快に拍子木が打たれ、参加者全員が童心に返って楽しんだ。



はじまり、はじまりー！

<六甲山郵便局>

明治43年、神戸中央郵便局の分室として設立。昭和6年より現在の場所に電話局を併設して開設された。平成14年にログハウス調に改築。



郵便局のスケッチ (浅井さん提供)

「青い山脈」を合唱！～エンディング～

昭和24年に西条八十氏が、車窓から六甲山の山並みの美しさを見てつくった詩に、服部良一氏が曲をつけた歌。改めて六甲山に親しみを込めながら、全員で合唱した。

まとめ (石田さん)

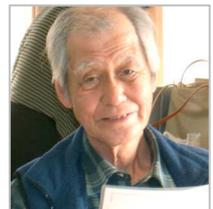
私達はまだまだ青春！近くて遠い六甲山が子供たちにとってふるさとの山として、少しでも近くに感じるように、これからも六甲山をフィールドとした生涯学習の道を歩みたいと思います。いつもは聴く側のリスナーでしたが、今回は講演する側のスピーカーになりました。今日のこの体験が、私達の活動の大きな糧になります。

質疑応答・発表の感想

- ・グループが長続きする秘訣は？：六甲山に対する思い入れの共通と、優秀なリーダーに恵まれたから。(代表の石田さんは照れ笑い)
- ・楽しく活動していらっしやるのがよく伝わった。
- ・とても分かりやすく、上手な発表。学校や文化祭などでやって欲しいと思います。
- ・女性らしい気配りが発表内容に表れていた。

参加の感想 浅井 審一さん

「青い山脈」世代の私達の若い頃のように純真に課題に取り組みされている「あけびグループ」のすがすがしさに、暗いこと悲しい事の多い中にしばし心洗われるひとときでした。



「やまのゆうびん屋さん」の紙芝居の絵にも、大変お手間をかけておられることもスケッチを楽しんでいる私にはよくわかりました。私の「山の郵便局」のスケッチです。(左)3～4年前に改築された時の様子です。お互いに前向きに、楽しくがんばりましょう。

今回は活発な交流ができて大成功でした。市民セミナーで、参加者の方に共同研究をしていただいたり、発表していただけるよう運営を工夫していきたくと意を強くしました。(事務局より)

◆参考・配布資料など：

1. 手製押し花のファイル、2. レジュメ・六甲山の四季、4. 「青い山脈」歌詞、5. 物づくり体験での創作物、6. 神戸婦人大学卒業論文



記念撮影

◆参加者の声～アンケートより～

- ・誰でも接することの出来るコースや施設など、六甲山をより身近に感じる事が出来た。
- ・紙芝居はとても上手。子供達にぜひ伝えたい。

★参加者の皆様へ

カンパ箱へのご協力、ありがとうございました。

◆参加者：33名(順不同・敬称略、ゴシック字はあけび)

石田 澄子	青木 孝子	植松富士子	川口喜預子
黒田 郁子	白石 郁子	田中 弘子	中務 勝子
西川 節子	藤本 武子	光宗 智子	山口 紀子
澤田 中	八木 浄	村上 定広	小坂 忠之
泉 美代子	兼貞 力	高光 正明	福谷真知子
水谷 真平	高橋 敬三	阪井 保宏	寺田 充
藤當 和子	浅井 審一	浅井 康枝	呂 少珍
堂馬 英二	松井 光利	小野 律子	藤井宏一郎
菖蒲 美枝			